

専攻科公開研究会実施要項

1. 主催 特別支援学校聖母の家学園

2. 期日 2017（平成 29）年 11 月 23 日（木） 祝日

3. 会場 聖母の家学園教室及び講堂
 三重県四日市市波木町 3 3 0 - 5
 Tel 0 5 9 - 3 2 1 - 4 5 0 2

4. 研究主題 『青年期教育の新たな挑戦』
 平成 7 年に高等部専攻科を設置してから 2 0 年余の実践の中で、様々な
 ご意見を頂き、今年度から教育課程を 2 年から 4 年に延長しました。ま
 だまだ手探りの状態ではありますが、この取り組みが、青年期教育の新
 たな道を切り開くものと考えています。

5. 内容

9 : 30 ~	受け付け	販売、本日の日程説明
10 : 00 ~ 10 : 45	公開授業	1、2 年：生活講座 3 年（NEXT）：生活の自立と自律
11 : 00 ~ 12 : 10	実践報告	1、2 年：障がいの重い生徒と専攻科 3 年（NEXT）：新しい教科の実践
12 : 10 ~ 13 : 15	昼食休憩	各自で準備してください 近くにコンビニがあります
13 : 15 ~ 15 : 15	シンポジウム (専攻科の 2 年間で得られたもの・今につながっていること)	シンポジスト 永井敬子（社会福祉法人のぞみの里施設長） 亀井有美 (障害者総合相談支援センターあい相談支援員) 上川かずみ（専攻科卒業生保護者） 水谷 泉（専攻科卒業生保護者） 松崎稚弓（専攻科卒業生保護者）
15 : 15 ~ 15 : 30	まとめ	田中良三 (全国専攻科（特別ニーズ教育）研究会会長)
15 : 30	終了	

6. アクセス

A) 公共交通機関

三重交通バスを利用してください。

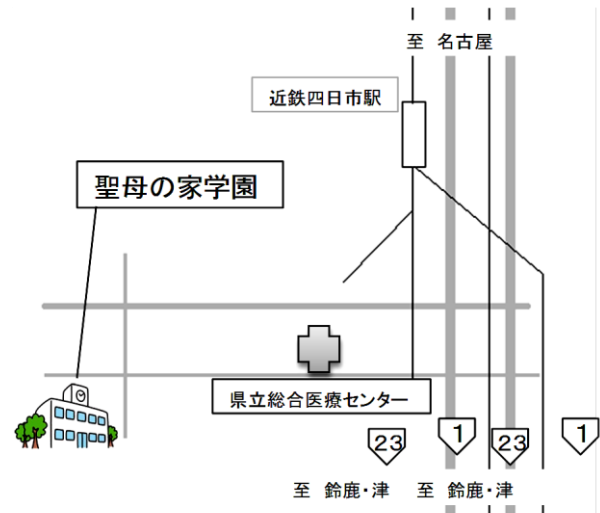
近鉄四日市駅西1番乗り場

41 笹川テニス場行

『聖母の家前』下車、徒歩3分約

B) 自家用車

国道1号「日永五南」西方約2.5km



7. 参加申し込み

A) 参加費

無料

B) 締め切り

特に締め切りはありません。当日参加も歓迎します。

C) 申し込み方法

直接聖母の家学園に、何れかの方法で申し込んでください。

FAX 059-320-3570

Email info@seibonoie-gakuen.ac.jp

専攻科公開研究会参加申し込み

(フリガナ) 氏名	
所属 学校・事業所名	
緊急連絡先 (携帯等)	

青年期教育の未来をみつめて

聖母の家学園高等部専攻科主任 金井辰也

特別支援学校に在籍する青年たちの、豊かな青年期教育を願い本校に高等部専攻科が設置され、今年で22年の歳月が経過いたしました。設置当初の専攻科は、青年期に必要な学びを模索し、保護者の皆様の叱咤激励や紆余曲折から始まりました。私たち教師は生徒の頑張りに支えられながら実践を重ね、現在の主要4教科を中心とする2年間の教育課程を作り上げることができました。20歳まで学び、社会へと巣立った専攻科修了生は、就労・福祉サービスの利用先での定着率もよく、専攻科の教育効果を少なからず感じられるようになりました。しかし、22年間の専攻科教育を実践する中で、新たな要求を感じるようになりました。

それは青年たちの「もっと学びたい」保護者の皆様の「もっと学ばせたい」という要求であります。昨今の高等学校卒業者の大学、短大への進学率は学校基本調査によると54.8%（平成28年3月）となっており、専門学校等を加えると70%を越えています。いわゆる健常者にとっての青年期教育には、たくさんの選択肢が用意され、学び、社会へ巣立ちます。ですが、障がいを持った青年たちはどうでしょう。特に私どもの学校のように知的な障がいを有する青年にいたっては、事実上、就労・福祉サービスの利用以外に選択肢すらない状態であります。ある生徒は「お兄さんは大学に通っているけど、なんで僕は進学できないの」と言い、ある保護者は「兄弟と同じように学びの機会を与えてあげたい」と言います。こういった素朴な疑問に応える教育の場があってもいいのではないのでしょうか。こうして私たちは専攻科教育22年の実践から新たに“4年制の専攻科”（専攻科NEXT）を設置するに至りました。

これまでの「障がいがあるから」という理由で「一刻も早い就労・福祉サービスの利用」という一本道に「青年期にじっくりと学ぶ時間を保障する」という新たな選択肢を設けた結果が、“専攻科4年制”（専攻科NEXT）だと考えます。すべてのケースに「専攻科が絶対に必要なんだ!」というものではなく「今までなかったものを選択肢として誕生させた」ということが重要だと考えております。学びたいという生徒がいて、学ばせたいという保護者がいる、それだけでも豊かな青年期教育の存在意義になるのではないのでしょうか。

平成29年度、全国で初となる4年制の専攻科を設置したわけではありますが、22年前と同様に、専攻科NEXTにふさわしい教育活動を模索する毎日であります。マニュアルのないものを創造していくには、たくさんの意見が必要となります。本日の公開研究会に参加していただいた皆様には、率直なご意見ご感想をいただけたらと思います。新学習指導要領にはキャリア教育の視点が多くみられます。教育で知識や技能を得るだけでなく、社会生活に応用できる人間を育成することが求められております。一言でいえば「生きる力」の育成となります。4年制となった専攻科教育でも「生きる力」を育てていけるように更なる努力と研鑽を積み上げていきたいと思っております。そして、本校の実践を通して、未来の青年期教育の全国的な広がりを願いたいと考えます。